



# 令和元年度 教育委員会 第7回定例会 議案

1 日 時 令和元年8月19日(月) 午後1時30分

2 場 所 教育委員会議室

3 報告事項

4 議 事

第16号議案 令和2年度使用教科用図書の採択 … 1

<非>第17号議案 教職員の懲戒処分 … 非

<非>第18号議案 教職員の懲戒処分 … 非

<非>第19号議案 教職員の懲戒処分 … 非

4 閉 会

第16号議案

令和2年度使用教科用図書採択

令和2年度使用教科用図書を別紙（別冊）のとおり採択する。

令和元年8月19日提出

静岡県教育委員会教育長

## 県立高等学校及び県立中学校における教科用図書採択

(高校教育課)

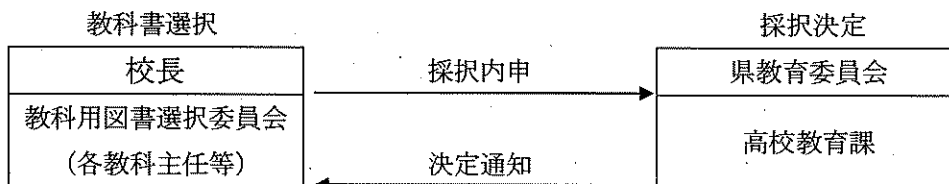
### 1 根拠法令

- ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律
- ・学校教育法
- ・義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律

### 2 主な教科用図書の種類

区 分	概 要
文部科学省検定本	民間の教科書発行者において著作・編集され、文部科学大臣の検定を経たもの。
文部科学省著作本	需要数が少なく民間による発行が期待できないことから、文部科学省において著作・編集されたもの。

### 3 教科書採択の流れ



- ・各学校は、教科用図書選択委員会を設け、使用希望教科用図書を選択し、県教育委員会に内申する。
- ・委員会は、校長を委員長とし、各教科主任等をもって構成する。
- ・各学校は、教育課程の編成並びに児童生徒の能力、適性、進路及び履修単位等について十分な考慮を払い、明確な方針に基づいて適切な教科用図書の選択が行われるよう措置する。
- ・県教育委員会は、この内申に基づき採択教科用図書を決定し、各学校長に通知する。

### 4 明確な方針

各学校は以下に示す4つの観点ごとに理由を1つ以上選択して県教育委員会に内申する。

- (1) 〈内容〉適切な内容が精選され、取り上げられている。 など
- (2) 〈組織・配列〉教材が系統的・発展的に組織され、他教材との関連が考慮されている。 など
- (3) 〈生徒への配慮〉生徒の発達段階に教材が適している。 など
- (4) 〈表現・造本〉本文、問題等について、用字・用語、図表等が正確で統一がとれている。 など

# 特別支援学校における教科書採択

(特別支援教育課)

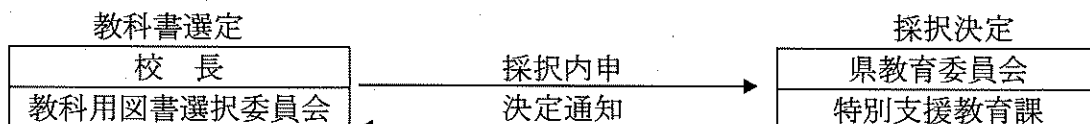
## 1 根拠法令

- ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律
- ・学校教育法
- ・義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律

## 2 教科用図書の種類

区 分	概 要
文部科学省検定本	・教科書目録に掲載されている図書(4年間同一のものを採択)
文部科学省著作本	・教科書目録に掲載されている図書(毎年度採択替え可能) (視覚(点字)、聴覚(言語・音楽)、知的(国語、算数・数学、音楽))
一般図書	・ボランティア団体が作成する一部の点字教科書 ・絵本や図鑑等「文部科学省一般図書一覧」で示された本 (全347冊、静岡県教育委員会ではその中から2年に一度選定を行い、選定された本の中から採択)

## 3 教科書採択の流れ



- ・学校では、教科用図書選択委員会を設け、使用希望教科用図書を選択し、静岡県教育委員会に内申する。
- ・教科用図書選択委員会は、校長を委員長とし、各教科主任等をもって構成する。(ただし、選択委員には教科用図書編著者を除く。)
- ・各学校における使用希望教科書の選択では、教育課程の編成、児童生徒の能力、適性、障害の状況等について十分な考慮を払う。
- ・県教育委員会は、内申に基づき採択教科用図書を決定し、各学校長に通知する。なお、採択の決定は8月末までに行う。

## 4 各学校の選択の主な方針

### (1) 小学部・中学部 (小学校・中学校の教育課程に準ずる課程)

#### ア 視覚障害

- ・点字・墨字いずれでも同一の授業ができるよう、点字教科書の原典となる教科書を選定

#### イ 聴覚障害・肢体不自由・病弱

- ・学校所在地の市町が採択する教科書を選定

### (2) 小学部・中学部 (知的障害の教育課程)・高等部

- ・障害の程度等児童生徒個々の状況及び各校の教育課程、適切な図書を選定

## 5 各学校の内申の精査

- ・教科書目録・静岡県教育委員会選定一般図書一覧に掲載されているものから選択されているか。
- ・各教育課程にあった教科用図書を選定しているか。
- ・障害の程度等児童生徒の状況にあった図書を選定しているか。

## 第7回定例会 報告事項

番号	項 目	Page
1	平成31年度全国学力・学習状況調査の結果について	1
配 布 報 告	2020年度教員採用1次選考試験の結果	10
	令和2年度使用教科用図書採択結果（市町立・小中学校）	13

## 平成 31 年度全国学力・学習状況調査の結果について

義務教育課 指導班

### 1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 調査実施日・実施学校数・実施人数（政令市、特別支援学校を含む）

実施日：平成31年 4 月 18 日（木）

実施学校数・人数：小学校 499校 児童数（6 年）31,366人

中学校 263校 生徒数（3 年）28,434人

### 3 調査内容

- (1) 学力に関する調査（国語、算数・数学、中学校のみ平成31年度より英語）  
※ 平成31年度より、A問題（知識）とB問題（活用）を一体化した。

- (2) 学習状況に関する調査

(ア) 児童生徒に対する調査…学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等

(イ) 学校に対する調査…指導方法に関する取組や教育条件の整備の状況等

### 4 全国学力・学習状況調査に関する調査結果の概要

- (1) 学力に関する調査

- (ア) 小学校（教科ごとの平均正答率） 単位は%

区 分	平成 31 年度		区 分	平成 30 年度	
	静岡県	全 国		静岡県	全 国
国 語	65.2	63.8	国語A	69.4	70.7
			国語B	55.5	54.7
算 数	66.1	66.6	算数A	62.9	63.5
			算数B	50.9	51.5

- (イ) 中学校（教科ごとの平均正答率）

区 分	平成 31 年度		区 分	平成 30 年度	
	静岡県	全 国		静岡県	全 国
国 語	74.8	72.8	国語A	77.6	76.1
			国語B	62.9	61.2
数 学	62.1	59.8	数学A	67.9	66.1
			数学B	49.1	46.9
英 語	58.2	56.0	—	—	—

- (参考) 校種・教科別調査問題数

	国語	算数/数学	英語
小学校	14	14	—
中学校	10	16	21

## (2) 学習状況に関する調査

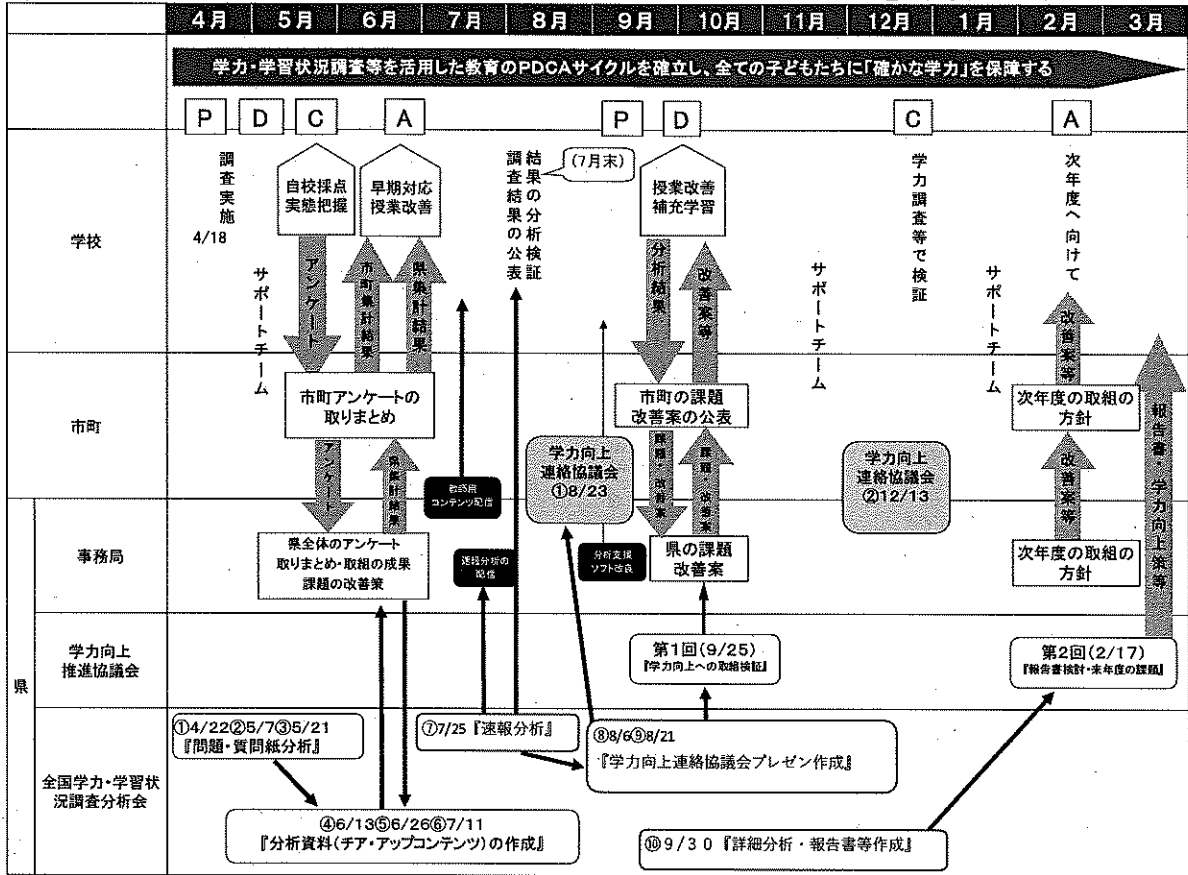
## (7) 児童生徒質問紙調査の主な結果

質問項目	小学校		中学校	
	静岡県	全国比	静岡県	全国比
自分には、よいところがあると思いますか	83.7	+2.5	77.6	+3.5
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	88.1	+2.0	82.6	+1.1
家で自分で計画を立てて勉強していますか	72.4	+0.9	46.8	-3.6
将来の夢や目標を持っていますか	84.8	+1.0	71.7	+1.2
今住んでいる地域の行事に参加していますか	75.3	+7.3	73.7	+23.1
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか	73.3	-0.8	76.1	+3.3

## (4) 学校質問紙調査の主な結果

質問項目	小学校		中学校	
	静岡県	全国比	静岡県	全国比
児童（生徒）の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	99.2	+3.8	98.9	+5.5
教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	95.2	+5.6	93.1	+6.7
児童（生徒）に対して、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしていますか	75.7	-7.5	99.6	+1.0
地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか	71.8	-7.4	61.6	-5.9
保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	96.6	+1.0	93.6	+2.1

## 5 平成31年度全国学力・学習状況調査等を活用した『PDCA』改善サイクル



## 6 今後の取組

学力調査と学習状況調査のクロス集計等、学習状況を含めた今年度の調査結果をさらに分析・検証し、学力向上推進協議会等において今後の対応策を協議する。

今年度の成果と課題、今後の対策等については、令和元年度第1回学力向上連絡協議会で市町の指導主事に伝達し、指導主事による学校訪問や各種研修会を充実させる。

また、事務所、センターの指導主事がチア・アップシートやチア・アップコンテンツの作成を通し共有した学力向上に関する方向性をもとに、学校支援を継続する。

※より詳細な分析は、資料参照



## 教育長コメント

このたび、平成31年度の全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省より発表されました。

学力に関する調査において、小学校では国語、中学校では全ての科目で全国の平均正答率を上回り、安定した状況を示す結果となりました。

小学校は、算数の「数量」についての問題において課題が見られるものの、全体的には安定しており、昨年度の結果を踏まえた授業改善の成果を感じることができます。

中学校は、毎年非常に安定した結果を示しています。各学校が経年に渡って、生徒のよい点や課題点を的確に把握し、生徒の実態に応じた授業改善が行われているものと思われます。本年度初めて実施された英語調査においても同様であり、「英語の勉強が好き」「英語の勉強は大切」と考えている生徒も多く、生徒の意欲を喚起した英語の授業が行われていることが分かります。

英語調査では、パソコンを使った「話すこと」調査も行われました。各学校、各市町教育委員会が、大変な労力のもと環境整備に努め、全ての学校で調査ができたことを大変有難く思っています。

日々向上心をもって成長している児童・生徒と、児童・生徒を支え、義務教育9か年を見通して地道に取り組んでおられる先生方、市町教育委員会の指導主事の皆様の御尽力に敬意を表したいと思います。

さて、県教育委員会といたしましては、「全国学力・学習状況調査」における「学習状況調査」、つまり、児童・生徒の質問紙と学校の質問紙の結果も重要であると考えております。

本年度も、「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童・生徒の割合が全国平均を大きく上回っております。保護者や地域の皆様の温かな支えが「確かな学力の育成」に大きく影響していると考えています。

また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」に対する回答の結果から、先生や友達との良好で温かな関係の中で授業を含めた学校生活が円滑に行われていることが分かります。

「学習状況調査」の結果から、子供たちを褒めて育てるという静岡県の方針が良い結果をもたらしていると考えています。

今後も、子供たちに対する保護者や地域の皆様の温かな支えのもと、静岡県の良さを十分に生かした教育活動を行い、一人一人の確かな成長に進めてまいりますので、よろしく願います。

令和元年7月29日

静岡県教育長 木苗直秀

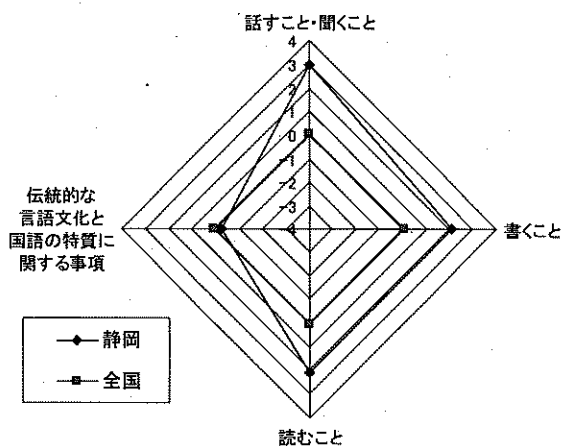
**各教科の成果と課題**

※文部科学省提供データを基にした、より詳細な分析

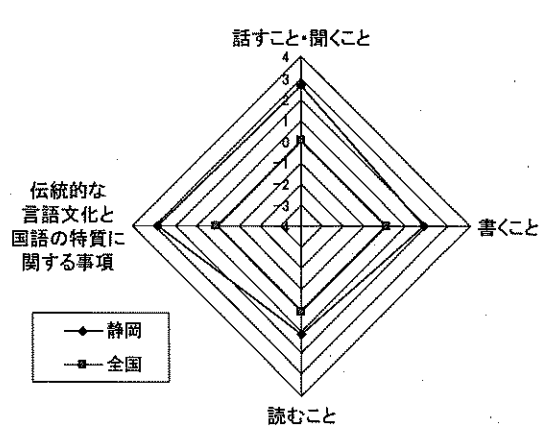
**【国語】**

- 小中学校ともに、多くの調査問題で平均正答率が全国を上回っており、「話す・聞く」「書く」「読む」の各領域の資質・能力がバランスよく育成されている。特に、記述式で答える問題の平均正答率がどれも全国を上回っている。
- 小学校では、「目的に応じて、文や文章全体を概観して効果的に読む」こと、中学校では「文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ」ことを問う問題で正答率が高い。
- 小学校では、「漢字を文の中で正しく使うこと」に依然として課題がある。中学校では、「封筒の書き方を理解して書く問題」において、他の問題と比べて正答率が低い。漢字の学習においては、手本となる漢字を視写するだけでなく、「話す・聞く」「書く」「読む」の各領域や他教科の授業、また実生活において、習った漢字を進んで正しく使う意識を高めていく必要がある。
- 小学校では、「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く」ことに対して、中学校では、「文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ」ことに対して課題がある。小中学校ともに、「話す・聞く」「書く」「読む」の各領域において「考えの形成」を重視する必要がある。

領域ごとの平均正答率<小学校>



領域ごとの平均正答率<中学校>



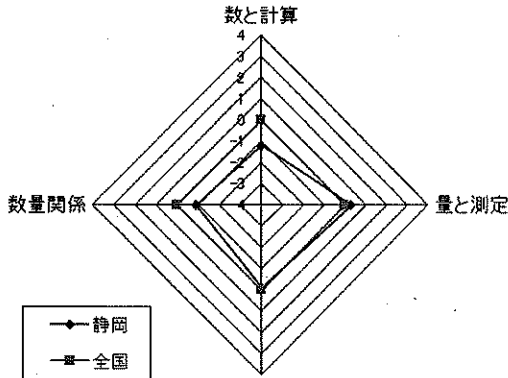
◆課題となる問題

	問題番号	正答率 (%)		問題の概要	出題の趣旨
		静岡県	全国		
小学校	1三	31.1	28.8	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の[ ]に、「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
	1四(1)ア	33.3	41.9	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の 部アを、漢字を使って書き直す(調査のたいしょう)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
	1四(2)	51.2	47.8	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の[ ]の1文を、接続語「そこで」を使って2文に分けて書き直す	文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
中学校	1一	63.8	63.9	「日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。……第一回は、弁当です。」について説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ
	1四	59.4	56.8	「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を書く	封筒の書き方を理解して書く
	2三	62.8	60.4	話合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていなかったこと」について自分の考えを書く	話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ

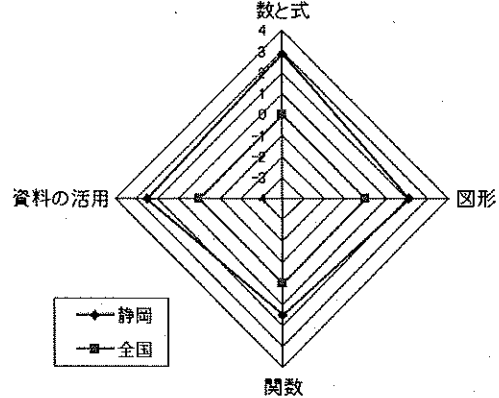
【算数・数学】

- 算数では、領域「量と測定」で全国の平均正答率を上回っている。また、観点「数学的な考え方」においても同様である。
- 数学では、平成19年度の調査開始以来、全ての領域・観点で全国の平均正答率を上回っている。
- 小学校で、「式の意味」の理解が不十分であることによる誤答が見られる。特に、「除法の式」「計算の順序についてのきまり」の意味等の理解を図る指導の充実が求められる。
- 小中学校ともに問題解決の方法を数学的に説明することに課題が見られる。問題解決の方法に焦点を当て、「用いるもの」と「用い方」を明確にして説明する活動の充実が求められる。  
(例：数学6(2)において、「用いるもの」がグラフとすると、「用い方」は、2つのグラフの交点の座標から、使用年数の値を読み取ることを表現することを指す。)
- 昨年度に引き続き小中学校ともに「情報の解釈・活用」に課題がある。複数の資料の特徴や傾向を関連付けて判断したり、統計的に問題解決をしたりする場面を、授業の中に取り入れることが求められる。

領域ごとの平均正答率<小学校>



領域ごとの平均正答率<中学校>



◆課題となる問題 図形

	問題番号	正答率 (%)		問題の概要	出題の趣旨
		静岡県	全国		
小学校	2 (2)	74.2	78.6	2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の約何倍かを、棒グラフから読み取って書く	2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる
	2 (4)	56.4	60.1	洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、 $6 + 0.5 \times 2$ を計算する	加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
	3 (4)	45.6	47.0	$1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ	示された除法の式の意味を理解している
中学校	6 (1)	39.1	38.8	冷蔵庫Aの使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点Pのy座標と点Qのy座標の差が表すものを選ぶ	グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することができる
	6 (2)	35.1	34.7	冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる
	8 (2)	37.7	40.8	「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる

【英語】

○「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3領域において、平均正答率が全国を上回っている。中でも、「書くこと」については、既習事項を用いて、最も適切な語句を選択したり、与えられた情報に基づいて英語で表現したりする問題の正答率が高い。

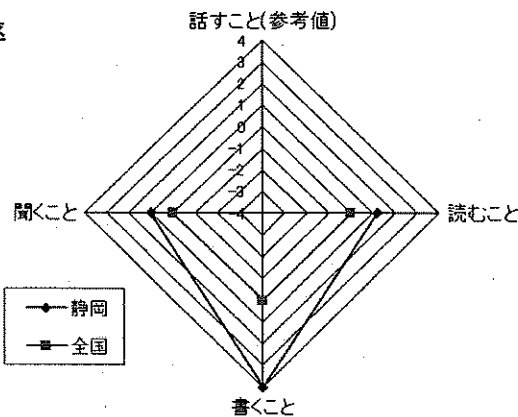
○聞いたり読んだりした内容を理解する問題において、正答率が高い。

●聞いたり読んだりした内容を踏まえ、目的・場面・状況に応じて、話し手や書き手の伝えたいこととは何かを理解するなど、概要や要点をとらえることに課題がある。

●基本的な語や文法事項等の知識を活用し、与えられたテーマについてまとまりのある文章を書いたり、相手に伝わる英語で即興的に表現したりすることに課題がある。

●授業の中で、実際のコミュニケーションの場面を意識し、子供が聞いたり読んだりしたことをもとに、目的・場面・状況に応じて、「何をどのように伝えたらよいか」を考えて表現するといった、技能統合型の言語活動を取り入れることが求められる。

◆領域ごとの平均正答率



◆課題となる問題

領域	問題番号	正答率 (%)		問題の概要	出題の趣旨
		静岡県	全国		
聞く	1 (4)	62.5	61.8	家での会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる
読むこと	7	33.8	32.8	チンパンジーに関する説明文とその前後にある対話を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する	まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる
	8	12.5	10.9	食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く	書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる
書くこと	9 (2) ②	32.4	28.9	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く	一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる
	10	2.2	1.8	学校を表す2つのピクトグラム(案内用地図記号)の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く	与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる
話す	2 (参考値)		10.5	ユイコとアラン先生のやり取りを聞き、その内容を踏まえて会話が続いていくように、即興で質問をする	聞いて把握した内容について、やり取りすることができる

## 児童生徒質問紙調査の結果

- 自分にはよいところがあると答える児童生徒が多い。
- 先生から自分のよいところを認められていると感じている児童生徒が多い。
- 継続的に地域の行事に参加する児童生徒が多い。
- 自分で計画を立てて勉強をしている小学生は前年度比で増加しているものの、中学生は減少しており、引き続き課題である。
- 地域行事への参加率は高いが、地域や社会をよくするために何をすべきかを考える児童生徒は、継続的に増加しているものの十分ではない。

### ◆本県の結果（肯定的な回答：％）と前年度、全国との差

質問項目	小学6年生		
	静岡県	前年比	全国比
4 家の人（兄弟姉妹は含みません。）と学校での出来事について話をしますか	79.0	-3.2	+1.6
5 自分には、よいところがあると思いますか	83.7	-3.0	+2.5
6 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	88.1	+0.9	+2.0
8 将来の夢や目標を持っていますか	84.8	-0.8	+1.0
15 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.2	+0.2	+0.1
17 家で自分で計画を立てて勉強していますか	72.4	+4.0	+0.9
23 今住んでいる地域の行事に参加していますか	75.3	+3.8	+7.3
24 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	53.2	+5.2	-1.3
27 5年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか（週1回以上の割合）	30.4	新規	-0.2
29 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	73.3	-5.1	-0.8
36 5年生までに受けた授業について、授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	60.8	+0.7	-1.7
40 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.8	+3.5 (H29年比)	-0.4
49 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	92.6	+2.0	+0.1

質問項目	中学3年生		
	静岡県	前年比	全国比
4 家の人（兄弟姉妹は含みません。）と学校での出来事について話をしますか	77.8	+1.3	+1.4
5 自分には、よいところがあると思いますか	77.6	-4.2	+3.5
6 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	82.6	-1.2	+1.1
8 将来の夢や目標を持っていますか	71.7	-0.9	+1.2
15 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.1	-0.7	0.0
17 家で自分で計画を立てて勉強していますか	46.8	-3.5	-3.6
23 今住んでいる地域の行事に参加していますか	73.7	+3.8	+23.1
24 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	42.8	+2.6	+3.4
30 1、2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか（週1回以上の割合）	29.5	新規	-1.1
32 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	76.1	-3.5	+3.3
38 1、2年生のときに受けた授業について、授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	57.4	+2.5	+1.6
43 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	87.7	+4.9 (H29年比)	-0.3
52 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	75.7	+2.1	-0.5
57 英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	85.9	新規	+0.5

## 学校質問紙調査の結果

- 小学校では、「特別の教科 道徳において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか」の数値が高く、授業改善の様子が伺える。
- 中学校では、経年の課題であった、特別支援教育について理解し、授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行うことが向上した。
- 経年比較すると小学校では各教科等を通して、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導が向上してきているが、なお一層充実させたい。

### 本県の結果(肯定的な回答:%)と前年度、全国との差

質問項目	小学校		
	静岡県	前年比	全国比
11 前年度までに、児童に対して、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	75.7	+3.4	-7.5
14 学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け、評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか	99.4	0	+0.6
16 教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	88.6	-1.5	-5.1
17 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	99.2	+1.0	+3.8
32 児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	81.3	0.0	-4.2
34 学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っていますか	95.0	新規	+0.5
35 学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童が意思決定できるような指導を行っていますか	93.4	新規	+0.3
36 特別の教科 道徳において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか	98.4	新規	+1.7
37 児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探求の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	91.1	-3.3	+1.8
49 第6学年の児童に対する指導において、前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板等)等のICTを活用した授業を1クラスあたりどの程度行いましたか(週1回以上の割合)	77.6	+14.3	-3.2
50 学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに(調査対象である)第6学年の児童に対する授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか	96.8	+1.0	+1.7
51 前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の持続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	73.2	新規	+8.2
52 前年度までに、近隣等の中学校と、研究授業を行うなど、合同して研修を行いましたか	82.6	+3.6	+12.0
57 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか	71.8	+3.8	-7.4
58 保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	96.6	+0.6	+1.0

質問項目	中学校		
	静岡県	前年比	全国比
11 前年度までに、生徒に対して、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	99.6	+1.5	+1.0
14 学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け、評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか	99.2	+1.8	+0.6
16 教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	79.8	+1.8	-8.3
17 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	98.9	+1.1	+5.5
33 生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	82.1	+2.9	-0.5
35 学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っていますか	90.5	新規	-2.7
36 学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の生徒が意思決定できるような指導を行っていますか	90.5	新規	-0.9
37 生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探求の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	90.5	-0.2	+2.5
63 第3学年の生徒に対する指導において、前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板等)等のICTを活用した授業を1クラスあたりどの程度行いましたか(週1回以上の割合)	76.1	+10.7	-4.7
64 学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに(調査対象である)第3学年の生徒に対する授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか	92.7	+4.3	+0.1
65 前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の持続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	76.0	新規	+8.0
66 前年度までに、近隣等の小学校と、研究授業を行うなど、合同して研修を行いましたか	84.4	-2.2	+8.2
72 保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	93.6	+4.8	+2.1
78 英語の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除きます。)について評価・指導を行いましたか	95.0	新規	+0.3

## 2020年度教員採用第1次選考試験の結果

(義務教育課)

### 1 合格者数等について

小・中学校教員								
校種教科	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数	倍率	採用 予定数	最終倍 率予定	
※小学校下段は小特共通、中学校下段は小中共通受験者(内数)								
小学校	763 (70)	48 (5)	715 (65)	462 (35)	1.5	265	2.8	
中 学 校	国語	60 (6)	7 (2)	53 (4)	37 (3)	1.4	25	2.2
	社会	126 (12)	18 (0)	108 (12)	48 (3)	2.3	24	4.5
	数学	86 (12)	7 (0)	79 (12)	48 (8)	1.6	24	3.3
	理科	88 (10)	5 (0)	83 (10)	40 (7)	2.1	20	4.2
	音楽	34 (4)	5 (1)	29 (3)	14 (2)	2.1	8	4.1
	美術	24 (3)	2 (0)	22 (3)	13 (3)	1.7	7	3.7
	保体	154 (12)	14 (1)	140 (11)	43 (4)	3.3	20	7.0
	技術	12 (1)	1 (0)	11 (1)	8 (1)	1.4	4	2.8
	家庭	16 (3)	1 (0)	15 (3)	9 (2)	1.7	5	3.0
	英語	75 (4)	9 (0)	66 (4)	52 (1)	1.3	28	2.5
中計	675 (67)	69 (4)	606 (63)	312 (34)	1.9	165	3.8	
小中合計	1,438	117	1,321	774	1.7	430	3.1	

養護教員							
校種教科	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数	倍率	採用 予定数	最終倍 率予定
養護教員	183	20	163	59	2.8	29	5.6

※ 養護教員は、小・中学校、高等学校、特別支援学校の採用となる。

※ (倍率) = (受験者数) ÷ 合格者数

※ (受験者) には、一部受験者、昨年度補欠合格者も含む。(今年度は無し)

### 4 2020年度教員採用選考試験の結果発表等について

#### (1) 第1次選考試験の結果発表

8月1日(木)、本人宛て郵送。正午に、県庁本館2階に合格者の受験番号を掲示し、教育委員会ホームページでも公開。

#### (2) 第2次選考試験

8月19日(月)、20日(火)に静岡県立静岡高等学校、静岡県立駿河総合高等学校において実施予定。

#### (3) 第2次選考試験の結果発表

10月1日(火)、発表方法は第1次選考試験と同じ。

### 2 特別な選考等について

#### (1) 教職経験者を対象とした選考

校種等	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数
小学校	141	2	139	76
中学校	72	3	69	37
養護教員	37	4	33	8

#### (2) 国際貢献活動経験者を対象とした選考

校種等	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数
小学校	2	0	2	2
中学校	1	0	1	1
養護教員	0	0	0	0

#### (3) 障害者を対象とした選考

校種等	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数
小学校	3	1	2	1
中学校	0	0	0	0
養護教員	0	0	0	0

#### (4) 中学校社会人経験者を対象とした選考

校種等	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数
小学校	-	-	-	-
中学校	9	0	9	4
養護教員	-	-	-	-

#### (5) 大学院進学予定者・在籍者の特例受験者

校種等	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数
小学校	23	0	23	18
中学校	21	3	18	11
養護教員	0	0	0	0

#### (6) 加点申請者

校種等	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数
小学校	214	13	201	148(12)
中学校	78	6	72	52(10)
養護教員	0	0	0	0(0)

※( )…加点による合格者数(内数)

### 3 その他

#### (1) 志願者・合格者の最高年齢、最低年齢

校種等	志願者		合格者	
	最高年齢	最低年齢	最高年齢	最低年齢
小学校	56	20	53	22
中学校	59	20	52	22
養護教員	50	20	36	22

## 2020年度教員採用第1次選考試験の結果

(高校教育課)

### 1 合格者数等について

教科・科目	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数	倍率
国語	80	16	64	35	1.8
歴史	120	9	111	26	4.3
地理	20	0	20	4	5.0
公民	52	10	42	10	4.2
数学	148	21	127	30	4.2
物理	42	6	36	6	6.0
化学	51	7	44	6	7.3
生物	41	5	36	10	3.6
保健体育	191	20	171	17	10.1
音楽	17	4	13	3	4.3
外国語	92	13	79	40	2.0
家庭	20	1	19	4	4.8
農業	20	3	17	9	1.9
機械	8	0	8	3	2.7
建築・デザイン	18	3	15	4	3.8
電気・電子・通信	14	1	13	3	4.3
商業	47	8	39	10	3.9
水産(機関)	1	0	1	0	-
水産(航海)	3	2	1	1	1.0
情報	16	1	15	4	3.8
福祉	8	2	6	3	2.0
ネイティブ	4	1	3	1	3.0
合計	1,013	133	880	229	3.8

#### <実習教諭> (特別選考試験)

実習	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数	倍率
農業実習	3	0	3	2	1.5
工業実習	1	1	0	0	-
商業実習	1	0	1	0	-
合計	5	1	4	2	2.0

※ (倍率) = (受験者数) ÷ 合格者数

※ (受験者数) には一部受験者を含む

### 2 特別な選考等について

#### (1) 教職経験者を対象とした選考

種類	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数	倍率
ア1	15	3	12	9	1.3
ア2・イ	50	2	48	10	4.8
ウ・エ	19	2	17	7	2.4
計	84	7	77	26	3.0

#### (2) 障害者特別選考選考

	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数	倍率
合計	6	0	6	1	6.0

#### (3) 国際貢献活動経験者を対象とした選考

	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数	倍率
計	8	0	8	1	8.0

#### (4) 博士号を取得した者を対象とした選考

科目	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数	倍率
物理	1	0	1	0	-
化学	1	0	1	0	-
生物	7	3	4	1	4.0
合計	9	3	6	1	6.0

#### (5) 民間企業等での勤務経験を有する者を対象とした選考

	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数	倍率
電通	1	0	1	0	-

#### (6) 医療機関等での勤務経験を有する者を対象とした選考

	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数	倍率
福祉	1	1	0	0	-

#### (7) 商船等での勤務経験を有する者を対象とした選考

	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数	倍率
水産	3	2	1	1	1.0

#### (8) 大学院修士課程1年生の特例受験者

	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数	倍率
	31	2	29	1	29.0

#### (9) 大学院進学予定者の特例受験者

	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数	倍率
	33	5	28	6	4.7

#### (10) 加算申請者

	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数	倍率
	227	34	193	77	2.5

### 3 2020年度教員採用選考試験の結果発表について

#### (1) 第1次選考試験結果

8月1日(木) 本人宛郵送。正午に県庁本館2階に合格者の受験番号を掲示し、ホームページでも公開。  
なお、実習教諭(特別選考試験)については第一次選考試験のみとなるが、合否については、8月初旬に所属長を通じて各受験者に通知する。

#### (2) 第2次選考試験

8月19日(月)、20日(火)、21日(水)に静岡県立科学技術高等学校において実施予定。

#### (3) 第2次選考試験結果

10月1日(火) 本人宛郵送および同日正午に掲示・ホームページ公開予定。



## 2020年度教員採用第1次選考試験の結果

(特別支援教育課)

### 1 合格者数等について

特別支援学校教員								
校種教科	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数	合格者のうち 任期付選考 併願者数	倍率	採用 予定数	最終倍 率予定
小学部	132	5	127	91	80	1.4	60	2.1
中 学 部	国語	8	0	8	6	6	5	1.6
	社会	34	2	32	21	21	15	2.1
	数学	6	0	6	4	4	3	2.0
	理科	11	2	9	5	4	4	2.3
	音楽	14	0	14	8	7	5	2.8
	美術	14	1	13	7	7	5	2.6
	保体	160	4	156	61	53	26	6.0
	技術	2	0	2	1	1	1	2.0
	家庭	0	0	0	0	0	0	
	英語	16	1	15	7	4	5	3.0
中計	265	10	255	120	107	69	3.7	
自立活動	3	0	3	2	1	1	3.0	
合計	400	15	385	213	188	130	3.0	

※(倍率) = (受験者数) ÷ (合格者数)

※(受験者)には、一部受験者、昨年度補欠合格者も含む。

(今年度は昨年度補欠合格者なし)

### 2 特別な選考等について

#### (1) 教職経験者を対象とした選考

区分	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数
ア	16	2	14	14
イ	148	0	148	66
ウ、エ	26	1	25	11
合計	190	3	187	91

#### (2) 看護師経験を有する者を対象とした選考

校種等	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数
特別支援	3	0	3	2

#### (3) 国際貢献活動経験者を対象とした選考

校種等	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数
特別支援	2	0	2	2

#### (4) 障害者特別選考

校種等	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数
特別支援	2	0	2	2

#### (5) 大学院修士課程1年生の特例受験者

校種等	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数
特別支援	1	0	1	1

#### (6) 大学院進学予定者の特例受験者

校種等	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数
特別支援	2	0	2	2

#### (7) 加点申請者

校種等	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数
特別支援	57	1	56	48(1)

※( ) … 加点による合格者数(内数)

### 3 その他

#### (1) 志願者・合格者の最高年齢、最低年齢

校種等	志願者		合格者	
	最高年齢	最低年齢	最高年齢	最低年齢
特別支援	58	22	57	22

### 4 2020年度教員採用選考試験の結果発表等について

#### (1) 第1次選考試験の結果発表

8月1日(木)、本人宛郵送。正午に、県庁本館2階に合格者の受験番号を掲示し、教育委員会ホームページでも公開。

#### (2) 第2次選考試験

8月20日(火)、21日(水)に静岡県立科学技術高等学校において実施予定。

#### (3) 第2次選考試験の結果発表

10月1日(火)、発表方法は第1次選考選考試験と同じ。

令和 2 年度使用教科用図書採択結果 (市町立小・中学校)

(義務教育課)

小学校で令和 2 年度から 5 年度までの 4 年間使用する教科用図書及び中学校で令和 2 年度の 1 年間使用する教科用図書 (「特別の教科 道徳」を除く。) の市町教育委員会による採択が終了し、下記のとおり決定した。

【小学校教科用図書一覧】

採択地区	国語	書写	社会	地図	算数	理科	生活
賀 茂	学図	学図	東書	帝国	学図	教出	学図
田 方	学図	学図	東書	帝国	学図	東書	東書
駿東沼津	学図	学図	東書	帝国	学図	大日本	学図
富 士	教出	教出	教出	帝国	学図	啓林館	教出
静 岡	光村	光村	教出	帝国	東書	大日本	東書
志 太	光村	光村	教出	帝国	学図	大日本	日文
榛 原	光村	東書	教出	帝国	学図	東書	東書
小 笠	光村	光村	教出	帝国	学図	東書	啓林館
磐田周智	光村	光村	東書	帝国	学図	東書	東書
浜 松	光村	光村	東書	帝国	教出	大日本	東書
湖 西	光村	光村	東書	帝国	教出	大日本	学図

採択地区	音楽	図工	家庭	保健	特別の教科 道徳	外国語
賀 茂	教芸	日文	東書	東書	学図	東書
田 方	教芸	日文	開隆堂	東書	日文	東書
駿東沼津	教芸	日文	開隆堂	東書	学図	光村
富 士	教芸	開隆堂	開隆堂	光文	学研	東書
静 岡	教芸	開隆堂	開隆堂	大日本	光村	光村
志 太	教芸	開隆堂	開隆堂	東書	光村	東書
榛 原	教芸	日文	開隆堂	東書	東書	学図
小 笠	教芸	日文	東書	東書	学研	東書
磐田周智	教芸	日文	開隆堂	東書	光村	東書
浜 松	教芸	日文	開隆堂	東書	教出	東書
湖 西	教芸	開隆堂	開隆堂	東書	学研	東書

【中学校教科用図書一覧】

採択地区	国語	書写	社会			地図	数学	理科
			地理	歴史	公民			
賀 茂	学図	学図	東書	東書	東書	帝国	学図	大日本
田 方	学図	学図	東書	東書	東書	帝国	学図	大日本
駿東沼津	学図	学図	東書	東書	東書	帝国	学図	大日本
富 士	教出	教出	教出	教出	教出	帝国	学図	啓林館
静 岡	光村	光村	帝国	帝国	教出	帝国	啓林館	啓林館
志 太	三省堂	教出	教出	教出	教出	帝国	学図	大日本
榛 原	東書	光村	東書	東書	帝国	帝国	学図	大日本
小 笠	光村	教出	東書	東書	東書	帝国	学図	東書
磐田周智	光村	教出	東書	東書	東書	帝国	学図	東書
浜 松	光村	教出	帝国	教出	教出	帝国	教出	大日本
湖 西	光村	東書	帝国	教出	東書	帝国	教出	大日本

採択地区	音楽		美術	保健体育	技術・家庭		英語
	一般	器楽			技術分野	家庭分野	
賀 茂	教芸	教芸	日文	東書	東書	東書	東書
田 方	教芸	教芸	日文	東書	東書	東書	開隆堂
駿東沼津	教芸	教芸	日文	大日本	開隆堂	開隆堂	開隆堂
富 士	教芸	教芸	開隆堂	東書	開隆堂	開隆堂	東書
静 岡	教出	教芸	光村	東書	開隆堂	東書	開隆堂
志 太	教芸	教芸	日文	東書	開隆堂	開隆堂	学図
榛 原	教芸	教芸	日文	東書	開隆堂	開隆堂	学図
小 笠	教芸	教芸	日文	学研	開隆堂	開隆堂	学図
磐田周智	教芸	教芸	日文	学研	開隆堂	開隆堂	学図
浜 松	教芸	教芸	日文	大日本	開隆堂	開隆堂	三省堂
湖 西	教芸	教芸	日文	大日本	東書	東書	三省堂

東書…東京書籍

学図…学校図書

光村…光村図書出版

日文…日本文教出版

大日本…大日本図書

教出…教育出版

帝国…帝国書院

光文…光文書院

開隆堂…開隆堂出版

教芸…教育芸術社

啓林館…新興出版社啓林館

学研…学研教育みらい